

# 「ボランティアスキルアップセミナー PART 3」

## ★事業の概要★

### 事業のねらい

教育事業「大雪あったかキャンプ」のプログラム実施要項作成に参画して自然体験プログラムの企画立案の方法を習得するとともに、プログラム運営を通して身につけた知識や技術の実践力を養い、施設ボランティアとしての資質の向上を図る。

### 期 日

平成23年12月23日（金）～ 12月24日（土）

### 会 場

国立大雪青少年交流の家

### 対 象 者

高校生以上の青年

### 参加者数：参加募集人数

19名（一般4人、大学生8人、高校生7人）：20名

### 講 師

国立大雪青少年交流の家職員

### 日 程

#### 【ボランティアスキルアップセミナーPart3】

				1300 1315 1345				1730 1900	1940	2100	2200		
12/23 (金)			受 付	開 講 式		企画の実際		夕 食 ・ 休 憩	企画の動どころ	企画を立てよう1	入 浴	休 憩	就 寝
	7:15	7:30	9:00		1200 1300	1400	1600	1700 1720 1900		21:00 22:00			
12/24 (土)	つ ど い	朝 食		企画を立てよう2		昼 食 ・ 休 憩	企画を立てよう3						参 加 者 解 散

# ★プログラム紹介★



## 企画の実際

企画を立てる前に、参加者自身が冬の屋外プログラムについて体験し、運営者として配慮すべきポイントを学んだ。



## 企画の勘どころ

次回行われる「あったかキャンプ」の概要をつかむとともに、企画を立てる上で必要な視点について学んだ。



## 企画を立てよう1

「あったかキャンプ」の各プログラムについて、3つの班に分かれてグループワークを行い、アイデアを出し合った。



## 企画を立てよう1

グループワークで出し合ったアイデアをもとに、運営する上で必要なポイントを整理して「企画書」にまとめていった。



## 企画を立てよう2

「企画書」通りに運営できるかを確認するため、活動場所に向いてシミュレーションを行い、改善点について話し合った。



## 企画を立てよう3

作成した「企画書」を発表しあい、全体で共有しました。また、よりよいものにするためにお互い意見を出し合った。

## 企画・運営のポイント

- ① ボランティアスキルアップセミナーPART3とPART4をセットの事業としてとらえ、それぞれを「企画編」「実践編」に分けて実施したことで、プログラム企画立案および検討の時間を十分に確保した。
- ② 事業のねらいに合わせたプログラム構成のしかたや、安全管理上配慮すべき事項など、プログラム立案の基本について全体で講義したあと、グループに分かれて企画立案を行った。その際、交流の家職員は各班のアドバイザーとして班に関わり、参加者ができるだけ主体的に活動できるようにした。

## 事業を終えて(成果・課題)

- ① 参加者自らがプログラム立案し、できるだけそのアイデアを生かしていくことで、事業に対する意欲を喚起することができた。
- ② PART3で企画、PART4で事業実施という形であるため、両方の回に参加してもらうことが望ましいが、今回はそうではない参加者が数名いた。より多くの参加者を募るために、参加意欲をもたせる工夫や、参加しやすい日程の工夫が必要となる。